



北公かわら版

2025.12.19
Vol.37



見やすいカラー版
バックナンバーはこちらから→

発行: 北谷公民館
電話: 0258-63-2346

住所: 新潟県見附市名木野町5320
メール: kitakou@city.mitsuke.niigata.jp

粘土で作る！ひな人形



日 時: 1/24、2/7、2/21(土) 13:30~15:30 全3回

会 場: 北谷公民館 1階アトリエ（名木野町 5320）

定 員: 中学生以上 先着8名

持ち物: 雑巾(ボロ布)、ビニール袋

参加費: 500円

申込: 中央公民館 TEL: 0258-62-1058 または下の2次元コードから



年末年始休館のお知らせ



12/29(月)~1/3(土)
休館になります。



2025年は北谷公民館をご愛顧いただきありがとうございました。
2026年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願ひいたします。

～北公　Cafe Time～

Vol.15



みなさんお元気でお過ごしでしょうか。

ふっと笑顔になれるようなお話を届けていきたいと思いますので、コーヒーでも飲みながらお読みくださいませ。

今年も、あっという間に12月となりました。

年を取ると月日の経過が早く感じるとか言いますが、気候が大きく様変わりして、予定していたことができないまま日が過ぎてしまうのも、そう感じる大きな原因ではないでしょうか。

春先までは穏やかに過ごせましたが、雨が降らない梅雨が終わると雨模様の初夏になり、その後35-36°Cの猛暑の長い夏で公民館の広場の芝が枯れ始めました。

9月には秋晴れがなく連日梅雨のような日が続き、雨が収まつたら一気に寒くなり、10月にはイノシシが芝広場を掘り返し、11月中旬過ぎにはみぞれ交じりの初雪が降り、12月を待たずに三俣かぐらスキー場はオープンしたそうです。

畠の種まきから収穫のタイミング、稲刈りをいつやろうか、様々な屋外の活動が思うように進められなかつた年ではなかつたでしょうか。

地球上では温室効果ガスの排出をなかなか抑えられずにいますが、極端な気候変動を防ぐ方法はないものでしょうか。

みら～い、みら～い（昔話のむか～し、むか～しの未来話のバージョン）、ある科学者が太陽と地球の距離を自在に変えることにより、気候変動を抑えられないか研究し始めました。

暑すぎたら遠くへ、寒すぎたら近くに動かして太陽の輻射熱を都合良く変える話です。

長い棒状のものを太陽めがけて押し出して地球の位置を変えようと試みますが、太陽があるはずの位置に棒を突いても太陽に触れることができません。

はて、太陽までの距離は1億5千万kmで棒の長さもあつてゐるが、さて？

覗いた未来はまだ技術確立できてなかつたようですね。

太陽光が1億5千万kmのかなたから、秒速30万kmの速度で地球に届くには約8分の時間を要しますので、見えている太陽を突き刺しても、そこは8分前の太陽の位置を突いており、8分先の位置を目指けないと届かないわけです。

では、もう少し先の未来を覗いてみましょう、みら～い、みら～い・・・。